



今年の課題図書

『りんごの木を植えて』 大谷 美和子／作 白石 ゆか／絵

(ポプラ社)



たとえあした、世界が滅亡しようとも、きょうわたしはりんごの木を植えるーこの言葉を教えてくれたおじいちゃんはガンが再発したけれど、積極的な治療はしないと言う。おじいちゃんのことが大好きなみずほは、あきらめないで病気とたたかってほしいと願うが…。

『風の神送れよ』 熊谷 千世子／作 くまおり 純／絵

(小峰書店)

優斗の住む地区では、400年づく「コト八日」という行事がある。家々に居座って悪さをする疫病神を集めて、村はずれに追い出す行事で、計画から準備まで全て子どもたちだけでやる。ある日リーダーの凌さんがケガをしてしまい…。



『ぼくの弱虫をなおすには』 K. L. ゴーイング／作 久保 陽子／訳

早川 世詩男／絵 (徳間書店)



白人の男の子ゲイブリエルは弱虫で、怖いものがたくさんある。5年生に進級する前の夏休みに親友で黒人の女の子フリータと、強くなるために怖いものを克服していく。偏見や人種差別にふれつつ、子どもたちの成長を描いた物語。

『捨てないパン屋の挑戦』 井出 留美／著

(あかね書房)

まきを燃やして作る田村さんのパンには、小麦だけでなく、何十年も生きてきた木の「いのち」も受け継がれる。そんなパンを毎日大量に廃棄することに悩み、「捨てないパン屋」を目指した田村さんの気づきを描く。

捨てないパン屋の挑戦
しあわせのレシピ



井出留美

あかね書房

過去の課題図書

2021年

『エカシの森と子馬のポンコ』 加藤 多一／作 大野 八生／絵

(ポプラ社)

『サンドイッチクラブ』 長江 優子／作 (岩波書店)

『おいで、アラスカ!』 アンナ・ウォルツ／作 野坂 悦子／訳

(フレーベル館)

『オランウータンに会いたい』 久世 濃子／著

(あかね書房)

2020年

『ヒロシマ消えたかぞく』 指田 和／著 鈴木 六郎／写真

(ポプラ社)

『月と珊瑚』 上條 さなえ／著 (講談社)

『飛ぶための百歩』 ジュゼッペ・フェスタ／作 杉本 あり／訳

まめふく／イラスト (岩崎書店)

『風を切って走りたい!』 高橋 うらら／著 (金の星社)

2019年

『ぼくとニケ』 片川 優子／著 (講談社)

『かべのむこうになにがある?』 ブリッタ・テッケントラップ／作 風木 一人／訳

(BL出版)

『マンザナの風にのせて』 ロイス・セパバーン／作 若林 千鶴／訳

ひだか のり子／絵 (文研出版)

『もうひとつの屋久島から』 武田 剛／著 (フレーベル館)

